

令和2年度6月号 [6月15日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

## 76期生の皆さんへ

(入学式式辞の原稿です)

校長 安部正幸

季節はまさに初夏。今年度の入学式は新型コロナウイルスという見えない敵との戦いの中で、延期を繰り返し分散での実施となりました。しかし、ここに保護者の皆様のご臨席が叶い、開催できますことを、まずもって良かったという気持ちで、安堵しているところです。

ただいま入学を承認しました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして今日まで、新入生を様々な面で支えてこられた保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

さて、新入生の皆さん、本校は、今年で創立74年目をむかえる川口市の中で最も古い学校です。学校番号も川口市1番の中学校です。この歴史と伝統の中、先輩達が築き上げてきた多くの実績のもと、学習活動や部活動に着実な成果を挙げている東中学校に入学したことを誇りとして、これからの3年間を、生涯の最も充実した時期の一つとなるよう大切に過ごしてください。

今日、日本社会は人工知能の急激な発展に伴い激動の時代へ突入しました。まさに、明日何が起こるか分からない、この大きな変革の時代に皆さんは中学校生活を送ることになります。皆さんが、勉強や部活動に打ち込むことはもちろんですが、私は、この変化に対応できる人間力をもこの中学生のときに身に付けてもらいたいと思っています。中学校は小学校と異なり卒業と同時に義務教育が終了します。そして皆さんは18歳で成人となります。それまでの間に、皆さんは自分自身で歩いていく力を身につけなければなりません。このことを自ら立つと書いて『自立する』といいます。中学校が、最終的に皆さんに求めるのは、この自立です。そのために必要なことを三つお話しします。

一つ目は、当たり前のことを当たり前に行う習慣です。凡事徹底という言葉があります。『挨拶をする。』『時間を守る。』『整理整頓をする。』『宿

題をやってくる。』『提出物を期限までに出す。』などごく当たり前のことではありますが、近年、これらを実行できない人が増えているという指摘があります。まずは当たり前のことを当たり前に行う。それができなければ、社会で認められる人にはなれません。

二つ目は、変化に挑戦する勇気です。今までのやり方がそうだからといって、漫然と見過ごしてはいけません。間違ったこと不正なことには、毅然とした態度で臨み、正しいと考えることには、未知への不安があっても正義感をもって突き進んでください。そこには、正しく判断する力が必要です。

三つ目は、コミュニケーション能力です。人はそれぞれ立場や環境が変われば、異なった考え方をします。相手の考えをきちんと理解し、自分の考えもしっかり伝え、お互いの理解に基づき共通点を探っていくことで、それぞれが目標を達成することができます。優れたコミュニケーション能力を持った者の間に『いじめ』は存在しません。

つづきまして、保護者の皆様をお願い申し上げます。本日より3年間、大切なお子様をお預かりさせていただきます。しかし、お子様を一番良く知り、そのお子様にとっての最大の教育者は、最も身近にいる保護者の皆様であると考えます。お子様の健康と安全に留意しつつ、教職員一丸となって、最善の教育指導をして参りますが、一人のお子様を教育する家庭と、集団で教育する学校とが同じ方向を向き協力し合うことが、生徒の成長には欠かすことができません。本校はこれまでも保護者の皆様のご協力のもと、現在の落ち着いた教育環境を構築して参りました。お子様の自立のためにも、本校の教育活動に対するご理解とご協力を切にお願いする次第でございます。結びに、新入生の皆さんのこれからの活躍を期待するとともに、保護者の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、式辞といたします。